

B—23 合成繊維織物の糊付け効果に関する研究
(第5報)

—SR 加工布について—

活水女短大 ○岩原 シゲ
長崎大教育 石崎 ダイ
貝田 律子

1. 市販 SR 加工布の、洗浄後の糊付け効果を、汚染性、洗浄性、剛軟度、耐光性について検討した。

2. 試布はポリエステル 65%、綿 35% 混紡の SR 加工布 A, B と、SR 加工なしの同じ混紡布を用いた。糊は CMC で、濃度 0.01%、0.03%、0.05%。試布の精練法、糊付け法、剛軟度測定法、洗浄試験法は前報までの通りである。耐光性は島津のフェードメーターを用い、照射時間 200 時間までの、経時変化を測定した。

3. 汚染性は SR 加工原布が未加工布より大であるが、糊付け布は防汚効果が明らかに認められる。糊付け

濃度と防汚性は必ずしも平行しない。剛軟度は糊料濃度 0.03% 糊付け布が A, B 試布とともに原布に近く良好である。耐光性は、照射時間とともに、試布の反射率は低下する。殊に SR 未加工のポリエステル 65, 綿 35 混紡布が目立つ。洗淨性も引きつづき検討し報告する。